

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100948
事業所名	グループホームフレンズハウス 大西

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	フレンズハウス大西は令和7年10月末、七反野より移設したばかり、然しながら、職員及び利用者は従来からのままで、近状付き合いはこれからという状況でもある。管理者は月1回の町内会(定例会)に出席、町内会の防災訓練などにも参加している。近隣住民とは散歩の時、挨拶を交わしている。民生委員はお隣であることから、相談は日常的に出来ている。利用者との交流については七番町のカフェやレクリエーションへも時々参加している。いきいき支援センターとの繋がりで高校での講師としても活躍している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	運営推進会議にはいきいき支援センター、福祉事業関係者(2事業所)、町内会長、保健師、民生委員、他法人(東部)のグループホーム施設長、利用者、職員などが参加して行事、防災訓練、勉強会、感染症、東部のサロン、実習生などテーマも多岐に渡り、近隣の事業所運営推進会議参加や他区への講師協力の依頼に対応している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	港区事業者連絡会居宅部会からは最近、介護フェアーなどの話があり参加している。その他、東部および西部グループホーム連絡会や港区役所・保護係・介護保険課、社会福祉協議会等の方々や民生委員・町内会長にも意見を聞き連携を図っている。研修会情報や東部家族教室での講師依頼対応、ホームの空状況などの相談を常に行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	意見や要望を申し送りミーティング(申し送りノート)で話し合っている。家族へはケアプラン見直しのタイミングで要望に対するアンケート(年・1回)を配布し、意見を吸い上げている。現在はインフルエンザの流行が有り、家族会は行えない状況もあり、敬老会やハロインパーティーなどの機会に家族より意見を聞いて支援に反映している。苦情については重説に「苦情申立窓口、担当」を明記し、苦情箱を設置して苦情の収集に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎	○	◎					